



大通・すすきの冬のイベント

ホワイトイルミネーション

12月～1月

ドイツ・ミュンヘンクリスマス市

12月

さっぽろ雪まつり&すすきの氷の祭典

2月

2008年、スケートリンクが28年ぶりに復活！！

クチコミ情報ボックス

■札幌市資料館（マップ中②）

1926年（大正15年）に建てられた、札幌控訴院（のちの札幌高等裁判所）の建物を、札幌の紹介や司法関係の展示、研修室やミニギャラリーとして利用している。外壁には札幌軟石、ポーチ上部の女神の彫刻も見事。

見どころ、休憩スペース充実！



開館時間：9時～19時
休館日：毎週月曜日・年末年始
※月曜祝日の場合は火曜日休館

■おおば比呂司記念室（札幌市資料館内）

おおば比呂司は、1921年札幌生まれ。戦後北海道新聞社に入社し図案課に籍をおく。上京後は漫画家としてデビューののち絵画、イラスト、絵本など多彩な場面で活躍。定山溪カッパ伝説の発案者の一人。

開館時間：9時～19時（入室は18時40分まで）
休館日：毎週月曜日・年末年始 ※月曜祝日の場合は火曜日休館
入場料：無料

■道立三岸好太郎美術館

大正から昭和初期の日本近代洋画史に鮮やかな光彩を放ち、31歳で夭折した札幌出身の画家・三岸好太郎の美術館。木立の眺めが気持ちよい喫茶ルームのみの利用も可。

開館時間：9時30分～17時（入場は16時30分まで）
休館日：月曜日（月曜日が祝日にあたるときは開館）、年末・年始（12/29～1/3）、展示替え期間など
入場料：一般450円、高校生・大学生220円 ※中学生以下、65歳以上の方、心身に障害のある方、生活保護を受けている方無料

■道立近代美術館（マップ中④）

館内にはミュージアムショップやレストランがあり、誰でも自由に入ることができる。2階にはソファの休憩スペースもあり、ここから眺める庭園の雪景色は格別。

開館時間：9時30分～17時（入場は16時30分まで）
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日又は振替休日のときは開館、翌火曜日休館。但し11/5は開館〔芸術週間〕）、年末年始（12/29～1/3）、展示替え期間等

■札幌市円山動物園

冬期間も毎日開園しており、寒さに弱い熱帯の動物たちは屋内で飼育しているが、雪景色に映える動物たちの凛とした姿も見られる。豊かな冬毛に生え変わった動物の美しい姿は一見の価値あり。

開館時間：2/1～10/31 9時～17時、11/1～1/31 9時～16時
休館日：12/29～31のみ
入園料：大人（高校生以上）600円、小人（中学生以下）無料
※次の手帳をお持ちの方は入園料無料～札幌市発行の敬老手帳、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳

■北海道大学植物園（マップ中①）

植物園は薬草園、野草園、樹木園、フラワー・ガーデン、高山植物園などが一般市民に公開されている。冬期は温室のみ開館。

開館時間：10時～15時（土曜日は10時～12時）
開館日：11/4～4/28（冬期）
休館日：日曜祝日及び年末年始（12/28～1/4）
入館料：大人・小人共（小学生以上）110円

■北海道庁別館 赤れんが庁舎（マップ中②）

かつて北海道庁の本庁舎として建築された煉瓦造りの西洋館（国の重要文化財）。館内は北海道開拓関係資料を展示・保存する北海道立文書館等として一般に公開されている。

開館時間：8時45分～17時
休館日：12/29～1/3
入館料：無料

木のぬくもりに歴史を感じますヨ。



■札幌市時計台（マップ中③）

正式名称は「旧札幌農学校演武場」。今でいう体育館！ビルの谷間で小さく見えるが、時計塔の先端まではビル5階分の高さがある。

開館時間：8時45分～17時10分（入館は17時まで）
休館日：6月～10月 第4月曜日、第4月曜日が祝日の場合は翌日
11月～5月 毎週月曜日、月曜日が祝日の場合は翌日
観覧料：大人200円（中学生以下は無料）

■大通公園（マップ中①）

札幌の都市計画の基線となる大通りとして設けられ、徐々に公園として整備されたもの。第二次世界大戦中にはイモ畑として利用された。大通西1丁目から大通西12丁目まで東西の長さ約1.5km。

■知事公館（マップ中②）

明治8年、開拓大判官松本十郎が酒田県（現在の山形）旧鶴岡藩士族を招へいし、桑園を経営した跡地。大正4年には、三井合名会社の別邸として来客の応接等に使用された。現在の知事公館は昭和11年に落成したもの。庭園は4月～11月末、公館は年中公開している。

開館時間：9時～17時（庭園は8時45分～17時30分）
休館日：土日祝祭日及び年末年始

■円山公園（マップ中⑤）

標高226メートルの円山の麓に広がる広さ約70万平方メートルの緑地。周辺には豊かな 円山原始林（特別天然記念物）が残されており、園内には動物園、野球場、総合グラウンドなどの施設が点在する。隣接する北海道神宮境内とともに、市内でも古くからの桜の名所。

春～秋には市民の憩いの場として賑わいをみせる公園も、冬は静かな佇まいをみせている。雪の上に目を凝らすと小動物の足跡などを見ることができ、確かな生命の息吹を感じる。

■北海道神宮（マップ中⑥）

明治2年に、明治天皇の詔により、東京で「北海道鎮座神祭（ほっかいどうちんざしんさい）」を斎行して、北海道の開拓・発展の守護神として、大国魂神・大那牟遲神・少彦名神の三柱の神々が鎮座され、明治3年には仮社殿が、現在の位置に社殿が建てられたのは明治4年で、当初の社名は「札幌神社」だった。昭和39年に明治天皇を増祀し、社名も「北海道神宮」へ改称された。境内地は、約18万平方メートル。

第一鳥居が建立されたのは明治28年。当時は札幌軟石製で、その後、外側に銅板を巻いた高さ8.7メートルの鉄筋コンクリート製になり、昭和43年、現在の鳥居（19メートル、ビル5階分！）に建て替えられた。

●砂箱を利用しよう！

砂箱には、つるつる路面を滑りにくくする砂が入っています。歩行者のみなさんが自由に利用できるように設置されています。ぜひ活用してください。



砂袋タイプ

使用済みの空袋はこちらへ

ペットボトルタイプ

※ペットボトルの場合は、空き容器を砂箱下段の「空きペットボトル入れ」に入れてください。

澄んだ空気と視界の開けた雪景色…体験してみませんか？

雪に閉ざされ、外出も途絶えがちな冬の北海道。適度なウォーキングは気分転換と健康向上にお勧めです。歩きやすい靴と服装、場所を選んで出かければ、冬みちウォーキングはこわくありません！

※本マップは、元気会、ウォーキングマップサポート隊、曙歩こう会、楽らく会、わが街ウォーキングマップの会のみなさんのご協力をいただき作成いたしました。（写真は、ルート検討時の様子）



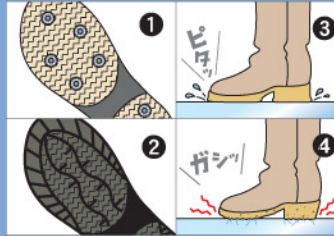
● 雪みちの歩き方

①靴の裏全体を路面につける
つるつる路面では、重心をやや前におき、できるだけ足の裏全体を路面につける気持ちで歩きましょう。



雪みちの服装
帽子
マフラー
手袋
冬靴

②小さな歩幅でそろそろ歩く
滑りそうな道、凍った路面に雪が積もったようなところ、交差点や横断歩道などでは、歩幅を小さくそろそろ歩きをしましょう。



● 滑りにくい靴選び

①ピン・金具付きの底
金属製のピンや金具が、固い氷を強く引っかき突き刺します。

注）じゅうたん等の上を歩くと金具が引っかかりつまづいたり、地下街や建物内のタイル等の床では滑りやすい。

②深い溝のある底
グリップ力が強いので滑りにくいです。

注）溝に雪がつまると滑りやすくなる。

③柔らかいゴム底
柔らかいゴムを使った靴底は、路面に対する接着力が強いので滑りにくくなります。

④滑り止め材入りのゴム底
ヤスリのように路面の表面をひっかくので滑りにくくなります。

● 転びやすい場所

①横断歩道
渡りはじめと終わり部分は、凹凸や段差があり滑りやすくなっています。また、白線の上も薄い氷の膜ができやすいので要注意です。

②ロードヒーティングなどの切れ目
ヒーティング区間のある所とない所や、地下からの出入り口付近では段差が発生しやすく、滑りやすい状態になります。

③タイル貼りの地下街や建物
靴底や靴のアタッチメントに、雪や氷が付いたままで地下街や建物に入ると滑りやすくなるので要注意です。

④バスやタクシーの乗り場
バスやタクシーの乗降場所は、人や車で踏み固められ滑りやすくなります。

